



令和 8 年 8 月 4 日

報道関係 各位

名古屋市立大学教育研究部教務企画課
課長 平野 雅也 電話：052-872-5801

大学水準の調査・研究・発表活動が体験できる
名古屋市立大学×名古屋市教育委員会 高大連携企画
『NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2026』取材のお願い

名古屋市立大学では、名古屋市教育委員会との高大連携事業の一環として、令和元年度より「NCU グレイド・スキップ・チャレンジ」を開講しています。

この企画は、市立高校の生徒が夏季休業期間の 4 日間、高校から大学に飛び級 (Grade Skip)して、本学経済学部・人文社会学部・芸術工学部・医学部保健医療学科看護学専攻・医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻・データサイエンス学部の学びや研究活動を体験するものです。

講座では、実際に大学水準の調査・研究活動を行うだけではなく、最終日には調査研究活動を行った成果の発表会も開催しており、高大連携の一環として探求学習を実践している点が、全国的にも珍しい取り組みとして、各教育機関よりご好評をいただいております。

令和 8 年度は、名古屋市立高校の 6 校（菊里、向陽、桜台、緑、名東、工芸）から合計 40 名の生徒が参加予定です。

この企画を広く知っていただきたくご案内しますとともに、高校生が関心を持つテーマの調査研究活動にいきいきと取り組み、発表する姿を是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 場 所**：名古屋市立大学 滝子キャンパス、桜山キャンパス、北千種キャンパス、葵キャンパス
※講座によっては学外で調査活動等を行う場合もあります。場所の詳細につきましては、取材のお申し込みをいただいた後にお伝えいたします。
- 講座・日程等**：別紙「講座一覧」のとおり。
- 取材の申込**：別添「取材申込書」をメールもしくはファックスにてお送りください。
※取材希望日の 2 日前（土日祝日を除く）までにご連絡をお願いいたします。

4 問い合わせ先：名古屋市立大学教育研究部教務企画課 鴨下

TEL : 052-872-5807 / MAIL : k_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

宛先：名古屋市立大学教育研究部教務企画課【FAX：052-872-1531】

日付：令和8年 月 日

NCU グレイド・スキップ・チャレンジ2026 取材申込書

貴社名 _____

TEL : — — (※当日連絡が取れる番号)

FAX : — —

取材希望日と講座名 月 日の 講座

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

ふりがな 取材者 氏 名	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
備考	

2026年度 グレイド・スキップ・チャレンジ 講座一覧

No	講座タイトル	学部	担当教員	講座概要	日程	撮影可否
1	関税について学ぼう	経済学部	川端康 教授	関税とは何か、関税はどのような効果をもつのか、なぜ関税政策が採用されるのかについて学びます。	8月20日、21日	不可
2	実験経済学講座 ～物の価格がどのように決定されるかを体験しよう!!～	経済学部	濱口泰代 准教授	経済実験をします。競争によって、物の価格と取引量がどのように決まるかを体験します。競争と公平性がなぜ両立するのが難しいかを学びます。	8月17日、18日	可
3	地域の伝承を学ぶ ～ だれもが親しめる笠寺観音の物語をつくろう	人文社会学部	江口啓子 准教授	南区にある笠寺観音には中世から受け継がれた縁起がある。この縁起は近世を通じてさまざまに改変・物語化されて広く人々に親しまれた。この講座では地域の人たちのだれもが親しめる新しい笠寺観音の物語の創造に挑戦する。（SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」）	8月17日、18日	可
4	スポーツをインクルーシブな視点で楽しもう！	人文社会学部	前林英貴 准教授	障害の有無に関係なく、健常者と障害児者が一緒にスポーツを楽しむためには何が必要なのか。障害の概念や障害種における特性を講義で学び、実際に障害者スポーツを経験しよう。また、フィンランド発祥のモルックを取り上げ、様々な障害種に対応したインクルーシブスポーツを行うための支援具やルール作りをみんなで考えます。	8月17日、18日	可
5	地域コミュニティについて考えよう	人文社会学部	三浦哲司 教授	身近な地域コミュニティとしての自治会・町内会は今、さまざまな困難に直面しています。講座を通じて地域コミュニティの現実を学び、どうすればよりよくなるかを考えていきます。 ※TEEPのPBL演習、南山女子高校のインターンシップ受入（名古屋市役所からの要請）との抱き合わせでの実施予定です。	8月20日、21日。また、24日午前は名古屋市役所本庁舎にて幹部職員に対して成果プレゼンを実施予定（現地集合、任意参加）。	可
6	車椅子体験から環境のデザインを考えよう	芸術工学部	内田達也 講師	オアシス21を車椅子で巡ります。見つけた問題点を持ち帰り、バーチャル空間に改善案をデザインしてみましょう。段差などのバリアだけでなく、サインなどの情報設計についても分析します。	8月20日、21日	可
7	地域保健講座 ～「赤ちゃんと親の健康を支える」ってどういうこと？～	医学部（看護学専攻）	門間晶子 教授 尾崎伊都子 准教授 雑子侑里 助教	日本における母子保健の現状と保健医療福祉施策を理解し、見学実習を通して地域における母子保健活動の実際と看護職者の役割を学ぶ。 具体的なねらいは以下の通りである。 ・看護師と保健師の活動の場や対象、方法を理解する。 ・母子保健の現状と保健医療福祉施策、看護職者の役割を理解する。 ・名古屋市保健センターで実施されている乳幼児健康診査や名古屋市保育園の地域子育て支援センター事業の見学を通して地域保健活動の実際を学ぶ。	8月6日、7日	可
8	近年の子どもの健康の特徴から将来の課題を考えよう	医学部（リハビリテーション学専攻）	池田崇 教授 塩津裕康 講師	子どもの体力・発達の近年の特徴を踏まえて、過去に子どもであった高齢者の現在の体力レベルや転倒・骨折の繋がりを考える。過去と比較して、現在の子どもは体力水準が低下するとともに、発達障害の可能性のある児童数が多くなっている。将来の健康増進に向けて、学術文献を通じて予測される課題について、解決策の提案を行う。（SDGs 3）	8月18日、19日	可
9	運は数学にまかせなさい？	データサイエンス学部	各務和彦 教授	確率とは何なのか？身近な実験から、確率とは何かを体験してもらいます。	8月19日、20日	可
	合同発表会			調査日の2日間で学んだことを各講座ごとにまとめ、発表をしてもらいます。高校・大学の先生や保護者を招いた全講座合同での発表会になります。	9月26日	可